



# 風と緑と太陽



## 重なる色 広がる色 「自分の色」はどんな色ですか

校長 野田 恵美

5月の学校公開では、多くの皆様に足を運んでいただき、ありがとうございました。また「子供たちと一緒に発見名人になりませんか？」の取組では、子供たちの活躍や教職員の学習指導に対して、心温まる「発見」を数多くいただきました。発見の内容は後日、HP等で紹介させていただきます。皆様の素敵な発見は私たち教職員にとってとても励みになります。心よりお礼申し上げます。

さて、ある日の4年生の図工で「絵の具でゆめもよう」という題材がありました。絵の具を網の上に載せブラシでこすったり、絵の具をたらしてストローで吹いてはじいたり、絵の具の水の量を変えてぼかしたり、前の色が乾く前に他の色をのせてにじませたり、ビー玉に絵の具をつけて転がしてみたり…など様々な表現技法をためしながら、自分の「ゆめもよう」をつくります。子供たちは「わあ～きれい」「空飛ぶドラゴンみたいになった」と声をあげ、偶然にできた模様や色を楽しんでいました。隣の子の様子を見てまねしたり、自分のもようにさらに工夫したりと、みるみる活動が広がっていく姿に子供たちの柔軟性を感じました。

同じ色でも水の量によって、印象が違います。同じ色でも使う技法で違う雰囲気になります。また色を重ねたり、にじませたりすることで、今まで知らなかった新しい色を発見することもできます。



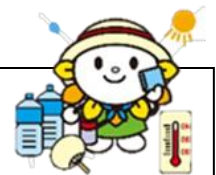
私は「共に学ぶ」ということもこの色の話に似ていると思います。「十人十色」という言葉がありますが、子供も私たち大人もそれぞれに素敵な「自分の色」をもっています。そして、個々がもっている「自分の色」を場面によって、濃い色で見せることもあれば、淡い色で見せることもあります。また、その色を比べたり、認め合ったり、色を合わせて別の色をつくり出すことができます。

教育活動においても、自分の考えと友達の考えを比べたり聞き合ったりする活動を通して、思考を深めたり、新しい考えを見つけ出したりしています。共に活動することで、見つける色が数限りなく広がっていくように、学びも広がっていくのです。

自分の色も他の人の色も大切にできる城山っ子でいてほしいです。

### ■ お願い① 熱中症対策について ■

※ 先月、水分補給のため、「大きめの水筒にする」「ペットボトルを複数にする」などのお願いをしたところ、ご配慮いただきありがとうございます。また、本校では、首元を冷やすネッククーラーや日傘の使用も認めておりますので、気候に合わせてご使用ください。日傘については、雨の日同様、前後のお子さんの安全にも配慮すること、ネッククーラーについては、正しい使用方法など、用具の扱いについて、おうちでも話していただきますようお願いいたします。



### ■ お願い② もちものについて ■

※ 子供たちは新しい学級にも慣れ、交友の輪も広がってきました。最近、仲がよいあまりに、校内で流行しているシール等の持ち物を交換したり、あげたり、もらったりするという場面がありました。また、お気に入りの大切な物なのに、落としたり、なくしたり、トラブルにつながったりすることも起こっております。城山小の基本ガイドにも学習に関係のないものはもってこないと記載しております。大切な物や好きな物はご家庭で楽しむよう、お声かけください。